

コアシナガバチ

体長は 11mm～17mm 程度で、日本のアシナガバチの仲間の中では小さい種です。

市街地でも見られますが、林や緑地などを好み、日当たりの良い木の枝や石垣、壁などに反り返った巣を作ります。アシナガバチの中では、様々な場所に巣を作ることが出来ます。

攻撃性はアシナガバチの中ではやや強く、巣を刺激したり、直接本種を持つなどしなければ、刺されることはありません。

富士市での現状

田んぼ周辺や林、緑地などを含め、広い範囲で確認しました。

40 年前には個体数が少ない種でしたが、今回の調査で市内の広い範囲で見られ、フタモンアシナガバチと分布などが置き換わった（置換種）と考えられます。



コアシナガバチを確認したメッシュ

